

祈りの友 第175号

2020年 9月

CEF季刊誌「インパクト」から

「後の世代の者が、…これを知り」



リース・カウフマン

詩篇 78:6-7は短い2つの節でCEFの働きのゴールをまとめています。

「後の世代の者、生まれてくる子らが、これを知り、彼らが興り、これをその子らにまた語り告げるため、彼らが神に信頼し、神のみわざを忘れず、その仰せを守るためである。」

1. 後の世代の者がこれを知るため

ひとりひとりの子どもがすべてイエスさまについて聞く機会を持ち、どうしたら生きておられる神さまと個人的な関係を持つことができるようになるかを知ることがCEFの決然としたゴールです。その目的のために、次の世代の者たちと明確に福音を分かちあうために私たちはグッドニュースクラブ、5日間子ども会、パーティクラブをしています。私たちの努力を神さまは祝福してくださり、現在、毎日、1分あたり48人の子どもたちにイエス・キリストの良い知らせを分かちあっています。この数字は感動的ですが、生活を変える福音のメッセージを聞く必要のある何百万人が残されています。毎日、すべての国のすべての子ども（Every Child, Every Nation, Every Day）に伝道するために、私たちはこの点にとどまり、ともに励む必要があります。

2. 彼らが神に信頼するために

福音をただ聞くだけでは十分ではありません。

私たちの重荷は福音の真理が子どもたちの心にしみ込み、ご聖霊が罪を認めさせ、彼らが永遠のいのちを持つためにイエス・キリストを信じることです。私たちの働きの永遠の結果を測ることは不可能ですが、昨年、900万人の子どもたちが教師に彼らがイエスさまを自分の救い主として信じたと伝えたことを私たちは知っています。私たちは誘導尋問ではなく、子どもが本当に福音を理解しているかを確認する質問をするように注意しています。彼らが救ってくださることがおできになるただひとりのお方、イエスさまを信じたとき、何百万もの人がやみから光に移されました。

3. 彼らがその仰せを守るため

私たちは子どもたちに神さまを知ってほしい、神さまを信じてほしい、生まれたばかりの乳飲み子のように成長してほしいと願っています。成長は彼らが神さまとみことばに従うことによってはっきりと現れます。それが、CEFが「エブリデイ・イニシアチブ」(毎日デボーションをするように助ける取り組み)に力を入れている理由です。私たちは、子どもたちの信仰の成長を助けるために、彼らがデボーションの本や他の弟子づくりの教材を持つように願っています。私たちは、子どもたちが教会で成長を確立できるように教会のパートナーとなっています。彼らが成長し、従い続

けるとき、彼らは聖書が言う「実が残る」者になります。私たちはそれを「成長する実」と呼びたいと思います。

4. 彼らが興^{おこ}り、これをその子らにまた語り告げるため

子どもが聞き、信じ、従うことを超えて自分の信仰を他の人と分かち合うとき、車輪は一巡します。私たちの祈りは今日、伝道した子どもたちがいつか働きに加わり、自分の家族や次の世代の者たちに伝道することです。CEFを通して伝道された多くの人たちが今、CEFや他の働きで奉仕しているのを見ることは大きな喜びです。私たちはこの働きへの神さまの恵みの御手を感謝しています。

次の世代の者がこれを知り、彼らが神に信頼し、彼らがその仰せを守り、彼らが興^{おこ}り、これをその子らにまた告げるようにと、あなたが祈り、支援して下さるとき、神さまがして下さるすべてであなたのパートナーシップを感謝します。

(国際CEF会長)

日本CEF (日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031 URL:<http://www.cef.or.jp>

FAX 0299(28)2028 Eメール japancef@cef.or.jp

振替 00160-1-59313

(宗) 日本児童福音伝道協会